

「福井県立大学 Global Gateway 実施設計」要求水準書

福井県立大学 Global Gateway の工事にかかる実施設計の発注にあたり、要求水準書を以下のとおり定める。

I 業務名

福井県立大学 Global Gateway 実施設計

II 事業の目的

福井県立大学では、中期目標（第4期:2025年4月1日～2031年3月31日）において、「学生の海外派遣や外国人留学生の受入れ体制を強化するとともに、実践的な英語力を身に付ける多様な機会を提供し、実社会で活躍するグローバル人材を育成する」ことを掲げている。

これを受けて、第4期中期計画では、「キャンパス内に英語等でのコミュニケーション力を磨くグローバル空間を整備し、学生の語学力向上や多文化理解の促進を図る」こととしている。上記の趣旨を踏まえて、永平寺キャンパス内に「福井県立大学 Global Gateway」を整備し、実践的な語学力の強化、学生・留学生と企業や地域住民との交流促進、留学生のサポート強化のための空間を整備する。

III 事業概要

- 1 事業名 福井県立大学 Global Gateway 実施設計
- 2 事業主体 公立大学法人福井県立大学（所管：永平寺キャンパス国際・留学支援課）
- 3 事業内容

福井県立大学 Global Gateway の整備にかかる実施設計

 - （1）整備位置 永平寺キャンパス 交流センター（配置図参照）
 - （2）整備面積 約515㎡
 - （3）整備完了目標 令和9年2月末日
 - （4）予定期間 実施設計：契約日から令和8年2月28日
工事：令和8年6月中旬頃から令和9年2月末日
- 4 実施設計に係る予定額 11,570千円（消費税および地方消費税を含む。）
- 5 工事に係る上限額（参考）184,430千円（消費税および地方消費税を含む。）
※工事監理費・備品費を含む

IV 業務の内容

1 概要

福井県立大学 Global Gateway 整備にかかる、簡易な基本設計、実施設計に至る一連の以下の業務

- （1）簡易な基本設計
- （2）（1）に合わせた、照明設備、空調機器、家具や機材の提案（調査・計画）

- (3) (1) に基づく行政手続き（建築、消防、その他法令）
- (4) (1) に基づく実施設計

2 業務にあたっての遵守事項

- (1) 本業務は、本書に基づき実施すること。
- (2) 受注者は、業務の実施にあたっては、建築基準法、消防法、条例等を遵守すること。
- (3) 令和7年12月5日（金）までに工事費概算を提出すること
- (4) 令和8年1月30日（金）までにワールドカフェ仮移転にかかる設計を終え、図面と設計書を提出すること
- (5) 受注者は、設計の進捗に関して、発注者に対して定期的に報告を行うこと。
- (6) 事務処理は、福井県設計業務等関係書類に基づき進めること。
- (7) 本業務のうち、設計業務の一部を諸法令の範囲内で再委託出来る。再委託する場合は、あらかじめ「再委託承諾願」を発注者に提出し、承諾を得なければならない。

3 業務成果の審査

概要に記載する段階が完了する毎に監督職員に下記を提出し、確認を受ける。

- (1) 基本設計
 - ・ 基本設計報告書 2部および電子データ
 - ・ 内観イメージ図 1部および電子データ
- (2) 家具や什器の提案
 - ・ 提案書 2部および電子データ
- (3) 行政手続き
 - ・ 許可書、通知書等 副本 1式
- (4) 実施設計
 - ・ 実施設計図製本 A3判見開き 5部 ※CAD データも提出
 - ・ 構造計算書 1部および電子データ (必要に応じて)
 - ・ 設備計算書 1部および電子データ
 - ・ 設計書 1部および電子データ (RIBC 形式)
 - ・ 積算調書 1部および電子データ

4 適用基準

要求水準書に記載のない事項については、原則として以下の基準による。

- ・ 公共建築工事標準仕様書
- ・ 公共建築工事積算基準

5 その他

- (1) 設計に必要と思われる既存棟の建築・電気・機械の各図、および家具・機材費の予定額と内容は、公告6(7)の参加資格を認めた者に電子媒体で渡す。
- (2) 設計の内容について、発注者は受注者に意見を述べることも、協議のうえ調整することができるものとする。

- (2) 各工事単価については、参考見積を徴収するなど単価根拠を明確にし、提出する積算根拠には、参考見積等の単価根拠も含めること。
- (3) 本工事にかかる補助金申請等に伴う資料作成に協力すること。
- (4) 監査等につき、工事完了後も含めて、資料作成、指摘事項への対応等に協力すること。

V 設計する内容

1 全体コンセプト

- ・“Global Gateway（世界に開かれた扉・玄関口）”の名が示すように、海外をより身近に感じられる雰囲気的空間とする。
- ・学生や留学生等が気軽に集い、刺激し合い、楽しみながら語学力の向上や他文化への理解を深めることができる施設とする。
- ・外部団体との交流や発表など、多数の学生が見学できるオープンな学修スペースと、留学相談や学生の自主学習等に必要な適度なプライベート空間を両立させる。
- ・語学に興味の無い学生も思わず入りたくなる、魅力的で開放的なスペースとする。
- ・提案内容に、既成概念にとらわれない斬新なアイデアが盛り込まれたデザインが含まれていることを期待する。

2 整備する施設の機能

整備する機能は下記のとおりとする。なお、設計にあたっては、既存学内施設との関係性や動線に配慮した利用者の流動性の向上、施設内の様子を外部から伺える見通しの良さ、調光や温度管理等の快適性に十分配慮することとする。

ア グローバルゲートウェイ

ワールドカフェ、アクティブラーニング室等諸室、および教員研究室と国際・留学支援課事務室の総称。

グローバルゲートウェイは以下の機能を持つ

- (1) アクティブラーニングゾーン（実践的な語学力の強化のための空間）
 - ・利用者が自由に集い、学習・対話・発表など多目的に活用できる柔軟性を持つ設計とし、家具やレイアウトは可変的で、交流の形態に応じて、空間をフレキシブルに最適化できる環境を整えること。
 - (2) 交流ゾーン（ワールドカフェ）
 - ・普段は学生や留学生が交流を深める「くつろぎの場」とし、時には地域住民等の各種団体が文化交流イベントなどを実施する「相互交流の場」として、あらゆる人々が垣根を超えて交流や学びを楽しみ、長時間滞在したくなるような空間を創出すること。
 - (3) 留学生サポートゾーン（留学生相談室）
 - ・プライバシーを確保した、温かみのある相談しやすい雰囲気を持つ空間を創出すること。
- ※諸室の詳細は別紙「諸室の一覧」参照

イ ワールドカフェに関する特記事項

- ・新ワールドカフェの工事が完了するまで、現ワールドカフェは下記ウの恐竜学研究所跡に仮移転し仮設運営するものである。
- ・ワールドカフェの仮設運営は、200 教員研究室および 201 教員研究室間の壁を撤去し、撤去跡を人が滞在するのに支障ない程度に平滑化した状態で行うものであり、給排水工事や内装工事は求めない。
- ・仮移転は現ワールドカフェから机、椅子等を移動するものであり、移動に係る設計は不要である。

- ・以上を踏まえたワールドカフェの仮移転に係る設計業務は本委託に含み、仮設運営を行うための整備に要する費用は、本整備費に含めない。
- ・新ワールドカフェの整備にかかる設計業務は本委託に含み、予定する工事費は本整備費に含む。
- ・新ワールドカフェの工事が完了次第、仮設運営中のワールドカフェを新ワールドカフェ整備箇所に移転し、仮設運営を行っていた箇所の整備を行う。この工事費は本整備費に含む。

ウ 恐竜学研究所に関する特記事項

現在、整備予定位置には恐竜学研究所が配置されている。この諸室は令和8年3月半ばまでに退出する予定である。

3 設計目標

(1) 維持保全

光熱費の縮減を図り、建築・建築設備の長寿命性、メンテナンスの容易性に配慮すること

(2) ユニバーサルデザイン

法律および条令に適合し、誰もが使いやすいディテールとすること

(3) 産業振興

県産材や県産品の活用、および県内企業の活用を図ること

(4) 建物に関すること

ア 各室の必要機能・床面積等は、別紙「諸室の一覧」のとおり。

イ 建築基準法や消防法に合致した設計にすること。

ウ 意匠においては設備や照明、ならびに、家具および機材類と一体に計画し、メーカー品番・想定される価格等も含めた家具・機材の提案を行うこと。家具・機材費の予定額と内容は、公告6（7）の参加資格を受けることができた者に電子媒体で渡す。

エ 大学が休校の日に、学外の者が現キャリアセンター、現交流ホール部分に整備する施設を利用することを想定し、これら以外の場所への進入を阻止できるようにすること。

オ グローバルゲートウェイ整備箇所以外の交流センターに属する諸室（講堂・多目的ホール）の機能を妨げないこと。

カ 備品収納場所の検討は不要

キ 構造の安全確認が必要となった場合は、受託者の責任において確認すること。

(5) 設備に関すること

ア 整備棟の空調機更新にかかる基本設計（調査・計画）を行うこと

イ 整備棟の照明設備にかかる基本設計（調査・計画）を行うこと

ウ 給排水設備計画を行うこと

エ 電気・通信・情報系設備計画を行うこと

※警備、学内LAN用の空配管を本工事にて設置するものとする。（機器・配線工事は本学が別途発注する。）

オ セキュリティ設備計画を行うこと

カ 防災・救急設備計画を行うこと（AED等）